

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成29年4月】

■調査概要（データ対象期間：平成29年4月1日～4月30日）

- 調査期間：平成29年5月1日～5月19日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業21企業、製造業24企業、卸売業14企業、小売業34企業  
飲食業14企業、サービス43企業（運輸、不動産仲介業を含む）  
<合計150企業>
- 調査項目：4月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価  
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

### 1. 業況判断

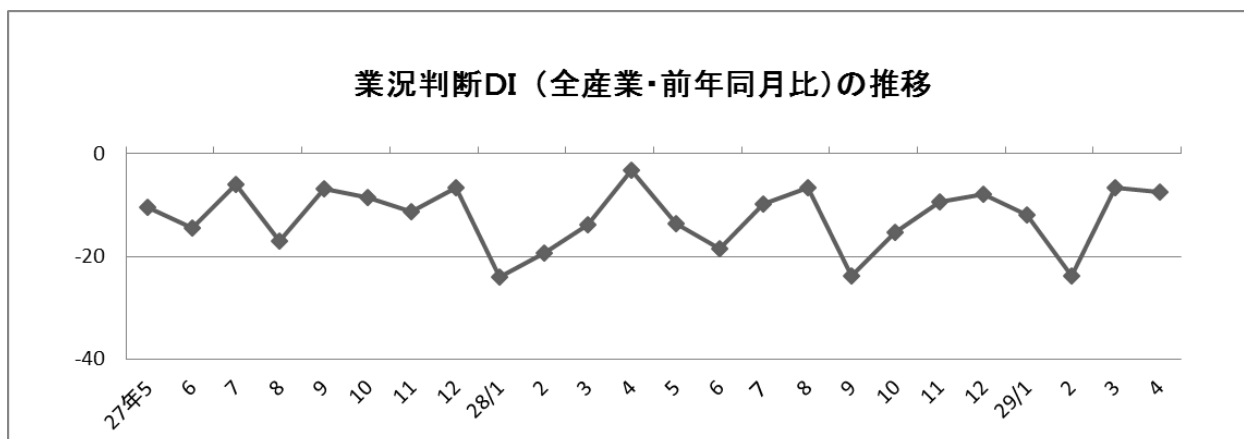
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲6.6）よりマイナス幅が0.8ポイント拡大し、▲7.4となった。業種別では、製造業は0からプラスに転じ、卸売業はマイナス幅が縮小した。サービス業は0からマイナスに転じ、飲食業、小売業、建設業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲8.0）よりマイナス幅が3.3ポイント拡大し、▲11.3となった。業種別では、卸売業、建設業はマイナス幅が縮小した。小売業、製造業は0からマイナスに転じ、サービス業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

#### 業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	15.3 (12.7)	62.0 (68.0)	22.7 (19.3)	▲ 7.4 (▲ 6.6)	10.7 (16.0)	67.3 (60.0)	22.0 (24.0)	▲ 11.3 (▲ 8.0)
建設業	9.5 (10.5)	57.2 (63.2)	33.3 (26.3)	▲ 23.8 (▲ 15.8)	4.8 (5.3)	71.4 (68.4)	23.8 (26.3)	▲ 19.0 (▲ 21.0)
製造業	29.2 (15.0)	58.3 (70.0)	12.5 (15.0)	16.7 (0.0)	8.3 (20.0)	70.9 (60.0)	20.8 (20.0)	▲ 12.5 (0.0)
卸売業	14.3 (8.3)	50.0 (58.4)	35.7 (33.3)	▲ 21.4 (▲ 25.0)	7.1 (8.3)	64.3 (50.0)	28.6 (41.7)	▲ 21.5 (▲ 33.4)
小売業	14.7 (13.9)	58.8 (66.7)	26.5 (19.4)	▲ 11.8 (▲ 5.5)	17.6 (25.0)	58.9 (50.0)	23.5 (25.0)	▲ 5.9 (0.0)
飲食業	0.0 (11.1)	85.7 (66.7)	14.3 (22.2)	▲ 14.3 (▲ 11.1)	0.0 (11.1)	71.4 (61.1)	28.6 (27.8)	▲ 28.6 (▲ 16.7)
サービス業	16.3 (13.3)	65.1 (73.4)	18.6 (13.3)	▲ 2.3 (0.0)	14.0 (15.6)	69.7 (66.6)	16.3 (17.8)	▲ 2.3 (▲ 2.2)

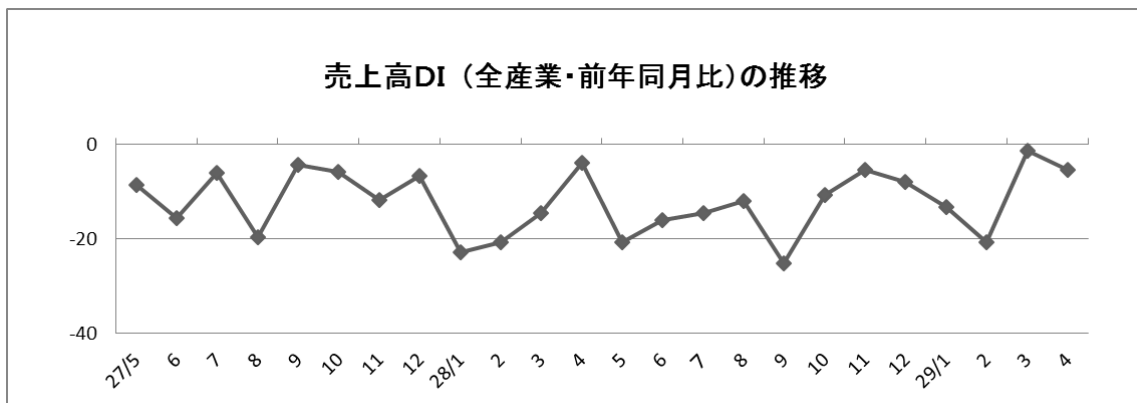
( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲1.3）よりマイナス幅が4.1ポイント拡大し、▲5.4となった。業種別に見ると、製造業はプラス幅が拡大し、小売業は、マイナスから0になった。飲食業はマイナス幅が縮小した。サービス業はプラスからマイナスに転じ、卸売業、建設業はマイナス幅が拡大した。

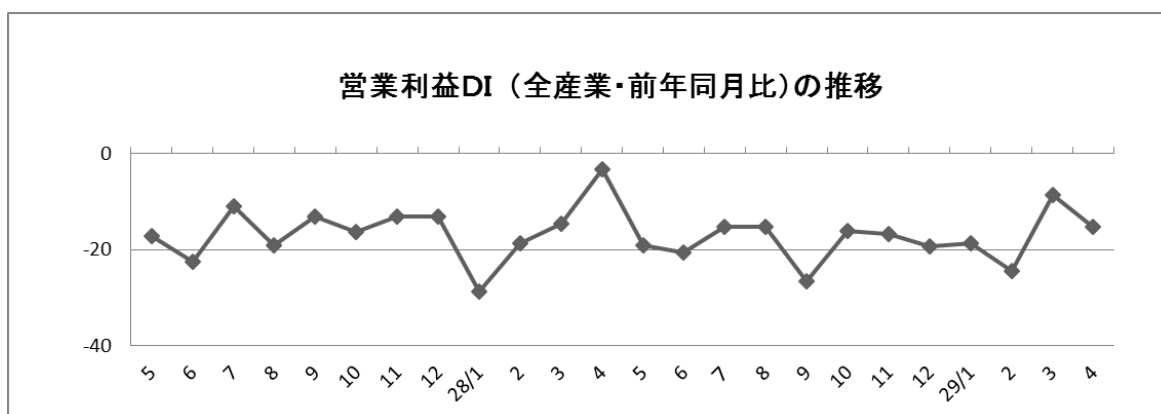


**【対前年同月比売上高業種別DIの推移】**

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
全 体	▲ 3.9	▲ 20.6	▲ 16.0	▲ 14.6	▲ 12.0	▲ 25.1	▲ 10.7	▲ 5.3	▲ 8.0	▲ 13.2	▲ 20.6	▲ 1.3	▲ 5.4
建設業	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 21.7	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1
製造業	4.4	▲ 28.6	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7
卸売業	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 23.1	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6
小売業	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 29.4	▲ 8.6	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0
飲食業	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4	▲ 5.5	▲ 43.7	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3
サービス業	0.0	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 25.0	5.0	6.8	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9	▲ 4.6

## 3. 営業利益DI（前年同月比）

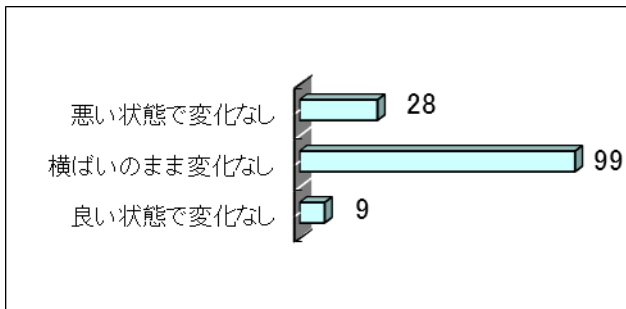
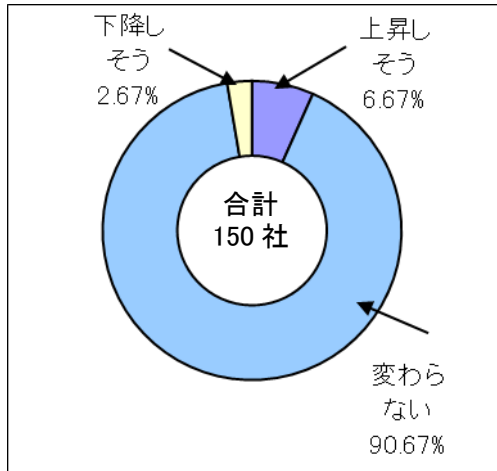
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲8.6）よりマイナス幅が6.7ポイント拡大し、▲15.3となった。業種別に見ると、製造業、飲食業はマイナス幅が縮小した。卸売業、小売業、サービス業、建設業はマイナス幅が拡大した。



**【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】**

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
全 体	▲ 3.2	▲ 19.2	▲ 20.7	▲ 15.2	▲ 15.3	▲ 26.5	▲ 16.0	▲ 16.7	▲ 19.3	▲ 18.6	▲ 24.5	▲ 8.6	▲ 15.3
建設業	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 21.7	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3
製造業	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 5.0	▲ 30.5	▲ 30.5	▲ 22.7	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.1
卸売業	30.8	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3
小売業	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9	▲ 15.1	▲ 29.4	▲ 14.3	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7
飲食業	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4
サービス業	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 17.8	▲ 13.0	▲ 15.9	▲ 15.9	0.0	2.3	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 14.0

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



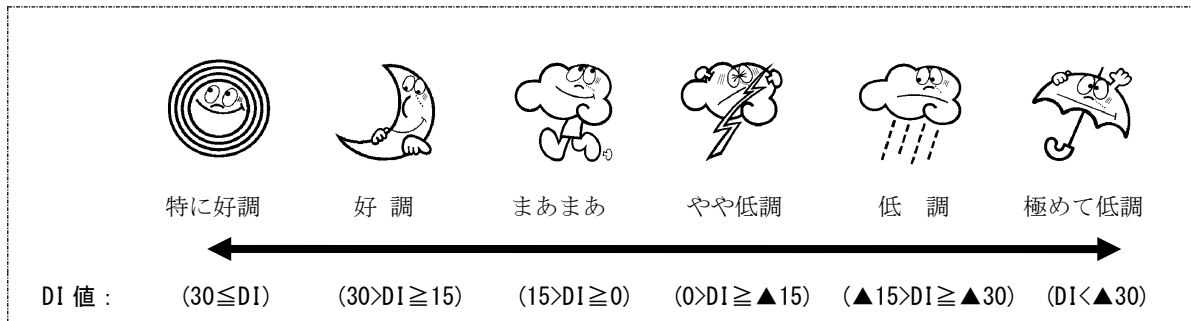
○平成29年5月～平成29年7月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.67ポイント減少し6.67%、「下降しそう」が5.33ポイント減少し2.67%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(▲4.2)、卸売業(7.1)、小売業(2.9)、飲食業(14.3)、サービス業(7.0)であった。

➡「上昇しそう」では、「現状が悪すぎるので、今後は上昇していくと思われるため」「リフォーム物件が増えるため」(建設業)、「先行手配が入ってきたため」(卸売業)、「暖かくなり、人出が見込めそうなため」(小売業)、「先月より今月、今月より来月と売上が上がるように努力しているため」「ゴールデンウィーク、修学旅行などがあるため」(飲食業)、「社員の実力がついてきたため」「暖かくなってきたため」「例年通りの季節の移り変わりを感じるため」「新しく紹介してもらった中から、新人研修やスキルアップ研修などの予約があったため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では、「公共工事の発注が少ないため」(建設業)、「大きな受注増加が見込めないため」(製造業)、「事業主が体調を崩し、入院しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 21.7	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1
受注量	▲ 16.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 38.1	▲ 4.7	▲ 13.1	▲ 20.8	▲ 39.1	▲ 30.0	▲ 18.2	▲ 5.2	▲ 38.1
受注単価	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 8.3	4.4	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 26.1	▲ 16.6	▲ 21.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 4.8
営業利益	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 21.7	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3
見通し	▲ 4.0	▲ 4.0	12.5	4.3	▲ 4.8	9.5	▲ 8.7	▲ 4.1	▲ 4.4	0.0	4.6	10.5	0.0

## <経営者の目・見方・e t c>

建築設計

・イオンモール松本の仕事が出てきた。

鉄工

・朝鮮半島、中東、中国等不確実な情勢があり、我々だけではどうにもならない要素が多分にあるため、先行きが見通しにくい。  
 ・首都圏の仕事が90%を占め、高い需要が続いているが、現場における管理者不足、ゼネコンの技術者の能力など問題があり、極端な伸びは期待できない。






管工事

・昨年より小さな売上があったが、まとまった物件の受注がないため心配である。

土木工事

・新年度になり1ヶ月が経過したが、公共物件の発注が少なく、先行き不透明である。

## 2. 製造業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヶ月
				
好調	まあまあ	低調	やや低調	やや低調

(各項目別前年同月比)

### 【項目別DIの推移】

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
売上高	4.4	▲ 28.6	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7
受注量	▲ 4.4	▲ 28.6	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 39.1	▲ 26.1	▲ 13.7	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 4.5	▲ 15.0	4.2
受注単価	▲ 17.4	▲ 14.2	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 27.3	▲ 10.0	▲ 18.2	0.0	▲ 5.0	▲ 16.6
営業利益	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 5.0	▲ 30.5	▲ 30.5	▲ 22.7	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.1
見通し	8.7	4.7	▲ 5.0	10.0	▲ 10.0	▲ 8.7	4.4	0.0	▲ 5.0	0.0	9.1	▲ 20.0	▲ 4.2

### <経営者の目・見方・e t c>

印刷	・特に良い話はないので、このまま横ばいに進めば良いと考える。
金属塗装	・世間では半導体装置の設備投資が増えているという話があるが、当社にその話は入ってこない。
紙器	・売上は伸びてきているが、思うほどではない。

## 3. 卸売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
低調	やや低調	やや低調	やや低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

### 【項目別DIの推移】

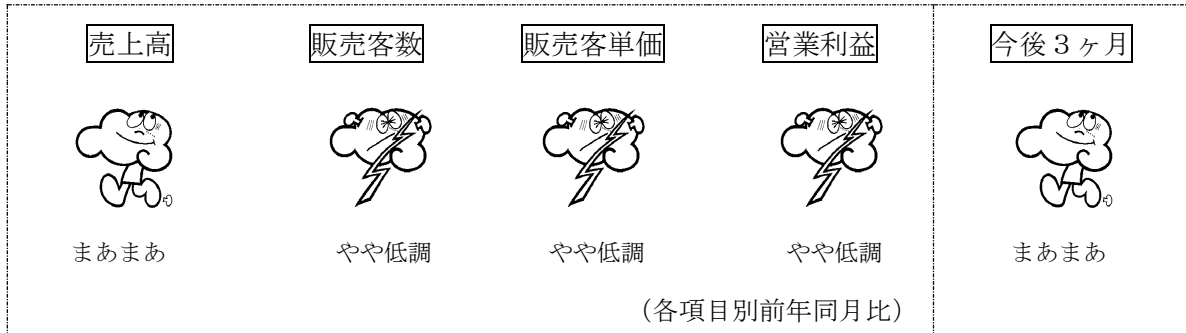
	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 23.1	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6
販売客数	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.2
販売客単価	▲ 7.7	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 7.7	0.0	6.3	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 14.3
営業利益	30.8	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3
見通し	0.0	8.3	▲ 7.1	0.0	7.1	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 6.3	0.0	0.0	8.3	7.1

### <経営者の目・見方・e t c>

土産品	・上高地、美ヶ原高原、黒部ダムなど主要観光地がオープンした。オープンに伴う納品が多くあったため、売上は増加した。
青果	・日中の気温上昇はあったものの、朝晩の低温の影響で出荷減だった。しかし単価は前年並みからやや安めで推移している。
機械工具	・先行きが不透明で厳しい状況である。 ・半導体業界が急激に動きだした。秋ごろまでの先行手配が入ってきている。

・前月同様、大型案件は一段落している。一方中規模の鉄骨案件は継続しているので、中、小の加工屋は仕事が確保できている。

## 4. 小売業



【項目別DIの推移】

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
売上高	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 29.4	▲ 8.6	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0
販売客数	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 24.2	▲ 11.8	▲ 6.1	▲ 29.4	▲ 5.7	▲ 23.3	0.0	3.1	▲ 41.2	▲ 8.3	▲ 3.0
販売客単価	0.0	▲ 22.8	▲ 18.1	▲ 17.7	▲ 12.1	▲ 23.6	▲ 22.9	▲ 20.0	6.4	▲ 12.1	▲ 32.3	0.0	▲ 11.7
営業利益	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9	▲ 15.1	▲ 29.4	▲ 14.3	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7
見通し	2.9	▲ 2.8	0.0	▲ 2.9	▲ 6.1	▲ 5.9	0.0	0.0	0.0	▲ 3.0	2.9	▲ 8.3	2.9

### <経営者の目・見方・etc>

ガラスサッシ

・国の補助金制度を利用したいと考えているが、手続き等が大変で敬遠してしまっているのが現状である。

ギフト商品・カレンダー  
ー・うちわ  
化粧品

・イオンモール松本に関する様々な情報が、マスコミ関係で扱われ徐々に全容がクローズアップされていた。進めてきた対策を引き続き進めていきたい。  
・比較的天気も良く、桜の開花の影響もあり観光客を含めにぎやかになってきた。売上には直接関係はないが外国人観光客を含め街に活気があることはありがたい。

書籍・木のおもちゃ

・入学のお祝いや進級のお祝いの需要はあったものの、厳しい状態が続いている。新学期に向けた販売対策を考えたい。

観光物産

・ゴールデンウィークの影響で観光客が若干増加したように感じるが、日本人の来店が少ない。

ショッピングセンター

・ゴールデンウィークの曜日の並びがよく、前年以上の動員が見られた。またイベントに対する反応も良く、広域からの集客が図れ、売上も順調に推移した。

陶磁器

・街中の人出が増えると、来店客が増え、売上も上がる。気温は低めだったが、雨の日は少なく、桜も長い期間楽しめたので、客数、売上ともに伸びた。秋までには街中の人出に影響されないような、集客方法を考えなくてはならない。

パン

・営業日が増えるなどの良い材料が重なり、売上が増加し満足のいく結果だった。暖かくなると客足も伸びるので、売上を伸ばしていきたい。

おやき

・新年度になったが、消費動向は相変わらず低調。大型連休は最大9日間にはなるが、店頭販売の売上増加を期待したい。

生鮮食品

・入学、進学等のお祝いごとが、あまり売り上げに結び付いていないように感じる。松本城の花見の観光客用のバスが何台も止まっていたが、滞在時間が短いようで、どこへ行ってしまおうのだろうか。

菓子

・観光客が動き出し、前年よりも良かった。入学の祝い菓子も注文が多かった。

印章

・月の半ばから客数・売上ともに突然落ち込んだが、理由がわからず不安である。松本城公園のサクラには、昼夜を問わず人出が多かった。

## 5. 飲食業



### 【項目別DIの推移】

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4	▲ 5.5	▲ 43.7	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3
販売客数	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 5.6	▲ 31.2	▲ 12.5	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 11.1	▲ 14.3
販売客単価	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 26.7	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.8	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 35.3	5.6	▲ 14.3
営業利益	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4
見通し	0.0	▲ 20.0	7.2	6.6	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	▲ 26.7	0.0	▲ 11.7	16.7	14.3

### <経営者の目・見方・etc>

寿司

・予期せぬ降雪など季節感のない天候不順は、やはりマイナス要素でしかない。それ以外では歓送迎会などの需要もあり、例年通りの4月であった。今後は、食材の高騰が気にかかる場所である。特に海産物の値上げは、一時的な値動きをする青果と異なり継続的な値上げになる見込みであり注視したいと考える。

・3月中旬から良い状態が続いている。今月も入学式、歓送迎会、花見シーズンと様々なイベントがあった。ゴールデンウィーク前の客入りも上々であった。

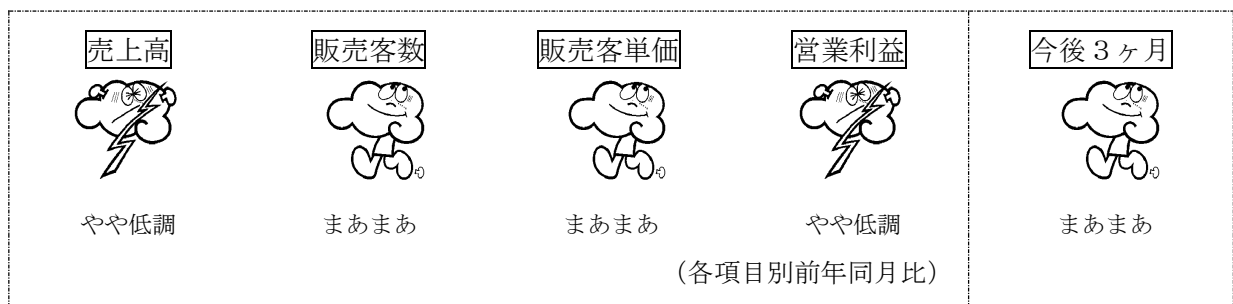
そば

・4月の前半は気温が上がらず、閑散としていたが、桜が咲くと大勢の人出があり、宴会も例年以上だったため、前半のマイナスをカバーできた。

料理

・気温が上がらず、月前半は客の動きが悪かった。山菜の季節となるが先取りしても売れない時代であり心配である。

## 6. サービス業





【項目別DIの推移】

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
売上高	0.0	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 25.0	5.0	6.8	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9	▲ 4.6
販売客数	▲ 2.3	▲ 11.7	▲ 15.5	▲ 8.7	▲ 4.5	▲ 22.7	0.0	4.6	▲ 11.1	▲ 17.7	▲ 14.0	4.4	0.0
販売客単価	4.5	9.3	▲ 4.4	▲ 4.4	4.5	0.0	▲ 2.5	6.8	▲ 2.2	▲ 4.4	▲ 7.0	0.0	2.3
営業利益	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 17.8	▲ 13.0	▲ 15.9	▲ 15.9	0.0	2.3	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 14.0
見通し	6.7	2.3	2.2	0.0	4.6	9.1	10.0	4.5	2.2	8.9	0.0	6.6	7.0

<経営者の目・見方・e t c>

- 自動車整備・板金塗装  
リラクゼーション  
タクシー
  - ホテル
  - 温泉旅館
  - ソフトウェア
  - 介護サービス
  - 測量・設計  
マナー講師
- ・3月からの繁忙期の影響で、今月も全体的に仕事量が多かった。大型連休を控えて、忙しい時期である。しかし、連休以降の仕事が少なくなることが不安である。
- ・全体的に好景気を感じている。
- ・4月17日には閉鎖されていた上高地公園線の道路が開通し、バス、タクシーの出発式が行われた。上高地のタクシー配車センターの開所準備作業を行い、観光シーズンに入った。
- ・宿泊は4月前半の動きが鈍かった。桜の開花時期が遅かったことも要因のひとつに考えられる。
- ・昨年は諏訪の御柱の年で特需があったので、今年の宿泊は去年には届かなかった。宴会は好調で、桜の季節で外国人観光客も多かった。
- ・地元の歓送迎会など日帰り宴会が旅館では少なくなってきたと感じる。
- ・先日の地震と牛伏寺断層との関連が気になる。2年前の御嶽山の噴火や白馬神城層地震のことが思い浮かぶ。これは設備投資や観光客の動きにも影響を及ぼし、財布の紐も固くなる可能性も考えられる。
- ・ランサムウェア(身代金を要求する悪質なウイルス)が話題となっている。大手企業だけではなく中小の職場(ドメイン)も無関係ではられない。市販のウイルス対策ソフトに頼ることなく、使用中の Windows アップデートの確実な実行とメールやインターネットなどの正しい利用方法について社内の注意を喚起したい。
- ・利用者の重症化が一段と進み、リスクが高まっている。社会保障が公助から自助へ移行してきているように感じる。
- ・今年度も単価の上昇で見通しは上向きだが、仕事の発注量が少ない。
- ・今年は新人研修が増え「人」の大切さが社内や事業所内の優先順位の上に来ていると感じる。スキルや知識は経験を積んでいくことである程度クリアしていけるが、人柄や考え方は「学び、知り、それを実行していくことが大切である。」ということが接遇を向上するために大切であると経営者の方に考えていただけている現状は喜ばしいことである。